

令和5年度あきた型学校評価シート
(秋田県立能代支援学校)

評価領域	学習指導
------	------

重点目標	確かな学力を育てる創意工夫ある授業改善の推進		P
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活用した単元により、児童生徒が主体的に取り組み、確かな成長を引き出すノウハウを蓄積できたが、学習指導要領に示された資質・能力を育成するための学習活動の充実と教育計画の改善が必要である。 		
具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の実態に応じた指導を徹底し、自立活動や実態把握を的確に行い、学習上の困難を改善・克服する力を育むための効果的な方法を共有する。 		
目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒一人一人の学びの履歴を踏まえた入学から卒業までの一貫した指導ができるよう教育計画や指導体制を整備する。 学習指導要領の実施状況の確認を徹底し、実態把握と指導目標の適切化、学習評価の改善、効果的な指導方法の検討を進める。 		
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの履歴シート」を活用し、適切な実態把握と目標設定のために個別の指導計画の様式を改めた。児童生徒一人一人の学びの履歴を踏まえて入学から卒業までを見通した指導ができるよう、教科ごとの実施状況が確認できるようにした。 		D
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの履歴シート」の活用によって、児童生徒一人一人の各教科の取り組み状況が可視化された。各教科等を合わせた指導においても教科ごとの視点が強化され、卒業までに育むべき内容が明確になり、指導計画を作成し授業を計画する上で児童生徒ごとのねらいが鮮明になった。 		
自己評価	(評価) A	(根拠) <ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートでは保護者の100%、職員の98%が本目標について「とてもよい」「よい」という評価をした。 	C
<p>↑ 評価基準 ↓</p> <p>A : 具体的な活動がなされ目標を達成できた B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない</p>			
学校関係者評価と意見	(評価) A	(意見) <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの表情が明るく、子どもたちと教師との繋がりが感じられる。子どもたちの積極性が育っている。 タブレットなど最新の機器を活用した教育活動が行われている。子どもの能力に応じて適切な活用がされている。 	C
自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒一人一人の学びの履歴を踏まえ、入学から卒業までの一貫した指導ができるよう教育計画や指導体制を整備する。 単元ごとに育成する資質・能力についての検討にとどまらず、在学中を見通した教育計画の改善により、学習指導要領に示された内容の実施と確かな成長を育むよう改善を進める。 		A